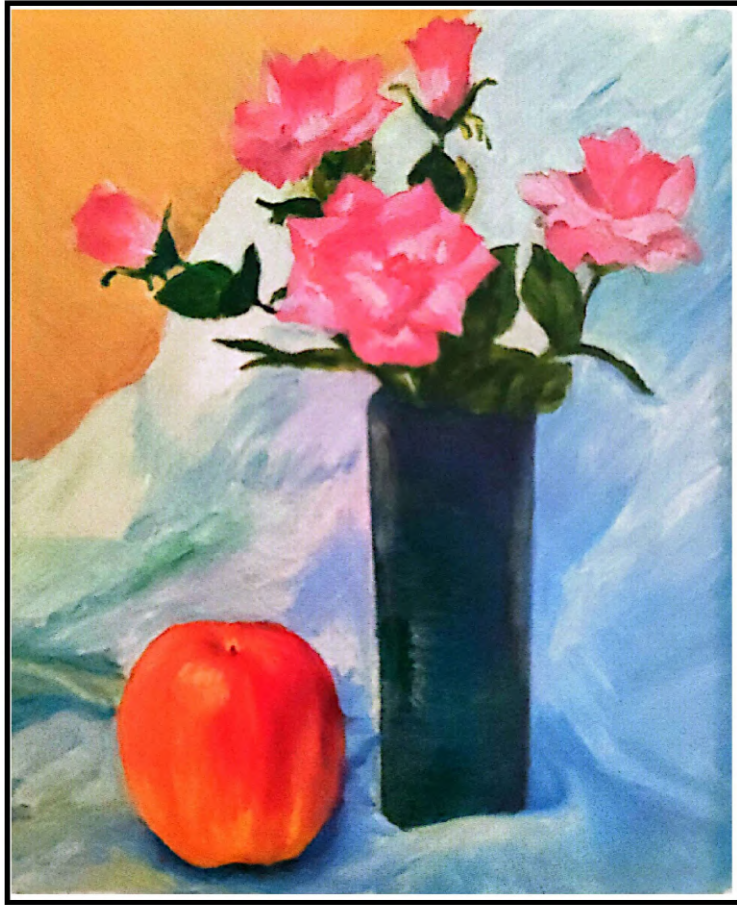


---

# 婦人会報

---

立教185年 6 月 令和四年  
2022年



天理教婦人会旭日支部 通卷516号

# 「おつとめの心構え」

vol.5

今回は「一下り目」  
について述べさせ  
ていただきます。

よろしく  
お願いします



●一下り目（慶応三年正月）【参考文献『みかぐらうたの世界をたづねて』道友社編】

◎一ツ 正月ころのさづけは やれめづらしい

一ツ すべてが改まる年の初めの正月。肥のさづけは、なんとめづらしいことか

◎二ニ につこりさづけもろたら やれたのもしや

二ニ 心うれしくにつこり……、このさづけを頂いたら、何と頼もしいことか

◎三ニ <sup>※1</sup>さんざいころをさだめ

三ニ A、欲のない三つ子の心を定めよ  
B、さんざいてをどりの心を定めて、たすけ一条につとめるならば（道の路金として肥のさづけを頂いて）

◎四ツ よのなか

四ツ A、そうしたならば世界に  
B、豊年満作の  
※1「三ニ」から「五ツ」までは、AとBの二つの解釈ができる。

◎五ツ りをふく

なるほどです。



五ツ A、利（理）をふいて

B、理（利）がふいてきて

◎六ツ むしやうにでけまわす<sup>※2</sup>

◎七ツ なにかにつくりとるなら

◎八ツ やまと八ほうねんや

◎九ツ こゝまでついてこい<sup>※3</sup>

◎十ド とりめがさだまりた



六ツ いたるところに限りなく豊かな実りがあらわれる

※2 「むしやうに」

|| 無性に。無再現。無尽蔵。

七ツ 何もかも、たつぷり収穫できたなら

八ツ 大和は、豊年

九ツ こうした恵みを受けられるまで、ついでこい

※3 「こゝまでついてこい」

|| 三段階に上がっていく手

振りは、成人の歩みを分  
かりやすく示すものと思  
われる。

十ド とうとう毎年豊かな収穫が定まった

※慶応三年は、教祖が月日のやしろとお定まりになられてから三十年になり、ようやく信者、参拝者が多くなつてきた頃です。ものの豊かさのご守護についてうたわれていきます。晴れやかな正月気分の中で、当時の人々が最も率直に求めた幸せを端的に歌われ、立毛の安定が社会の治まりの根源であることについて述べられています。神一条の心を定めていけば、肥のさづけによって、豊年満作の守護を与えてやろうとお約束されています。



R185.4.24  
13:00～

## 第49回 旭日支部

### 委員長講習会開催報告

新型コロナウイルス感染拡大という大節を頂き、早くも二年が経とうとする中、本年は社会状況を鑑み、例年とは日程を変更しながらではありましたが、無事に委員長講習会を開催することができました。今回は、相手に教理を伝えるということを念頭においての、教理勉強会を行いました。先にワークシートが配布され、テーマに基づいて、各々前もって勉強をし、ワークシートを仕上げ、講習会に参加していただきました。

当日は、六つの班に分かれて、天理教の教えの根幹としてある、①陽気ぐらしとは②「かしもの・かりもの」とは③「たんのう」とは④「ひのきしんつくしはこび」とはについて、原典をはじめ教えて学んだこと、そして自分で説明をするならばどのようなように伝えるかという点から発表しました。

それぞれに、学んだことは同じでも、経験や捉え方など、深く感心することばかりで、あつという間の時間でした。共々に信仰信念を培って勇ませ合い、委員長としてのさらなる自覚を深める良い機会を与えていただきました。そして、当たり前のよう感じていたことも、有り難いことであると改めて感じるこの出来た、実りのある講習会となりました。当日、五十四名の方が参加いたしました。また、受講が難しい状況の方も講習会までにワークシートを提出しました。



#### タイムスケジュール

13:00	・受付
13:15	・開講
	・支部長挨拶 新委員長任命
	・司会より連絡
13:30	・移動
13:40	・教理勉強 グループワーク
	・各班まとめ
15:15	・閉講
15:30	・解散

・支部長様ご挨拶



・開講式




・グループワークの様子




# 委員部長講習会を 受講して



 道野元委員部 山村 信子

いつも使っているお道の言葉。頭では分かっていたつもりでしたが、講習会のワークシートでそれはどういうことか、人に伝える時にどのように言うのかと問われると、漠然としか理解できていない自分がいました。教理の勉強は、婦人会の活動方針の中の旭日支部の実行項目の一つにあります。私自身が一番後回しになっていました。今年の委員部長講習会は、委員部長に対しての本会からのお話なども、自分の信仰姿勢を見つめ直せる良い機会をいただきました。そして勉強するほど、改めて教えの奥深さ、大事さを感じ、夫婦、親子の治まり、世の治まりを思う時、教祖が教えて下さったこの教えが、今こそ必要で、もっと知ってもらおう努力をしなければならないとも思いました。その為にも教えを学ぶことを忘れず通りたいと思います。

 菊山委員部 長瀬弘子

そばふる雨の中、三年ぶりの委員部長講習会に参加させていただきました。久しぶりの皆様とお逢いでき、本当になつかしく嬉しく感じたものでした。そして勉強会では、皆様しっかり勉強されてみえるんだなあと感じました。その中の一つ「陽気ぐらしとは」というテーマのところで、『教典』には「陽気ぐらしは、他の人々と共に喜び、共に楽しむところに現れる。皆皆心勇めば、どんな理も見え、どんな花もさく。」とありましたが、果たして自分は、常に陽気な心で通っていたか、反省しきりでした。

委員部長として、届かぬながら三十五年程、大勢の方々に支えていただきながら御用をさせていただいて参りましたが、この度、新しく若い委員部長に交代する事が出来、大変ありがたく思っております。教会にも若い空気が漂い、教祖の御教えどおり、陽気な教会を目指し「道の台」として共々に頑張らせていただきたく思います。



# こかん様に続く会開催報告

3年ぶりに、集まったの「こかん様に続く会」を開催させて頂きました。

初めはそれぞれ緊張した様子でしたが、少しずつ話していく中で笑顔が見えるようになり、ゲームの時には笑い声も聞こえてきました。親神様の十全の御守護については、体験談や日頃感じている疑問なども話し合いました。その後御本部へ行き、実際にかんろだいを拝見して、ここで人間が創られたんだと実感してくれていたようです。

コロナ禍で、なかなか御本部に来れなかった参加者からは、久しぶりに参拝や廻廊ふきができて良かったとの感想がありました。

(女子青年係・記)



スイーツタイム♪



笑顔でパッチリ！



十全の守護について学ぼう！

5月1日(日)

- 9:30 大教会集合
- 9:45 参拝・支部長様からメッセージ
- 10:00 ウォーミングアップ(ゲーム・自己紹介)
- 10:30 親神様の十全の守護について学ぼう
- 11:45 昼食
- 12:30 本部にておつとめ・廻廊ふきひのきしん
- 14:00 スイーツタイム・感想文
- 15:00 解散

女子青年8名参加(内、高校生1名)





# 七月例会案内

日時 七月五日（火） 午前十時  
場所 旭日大教会  
内容 教祖祭  
お願いごとめ  
ておどり（半下り）  
大教会ひのきしん（窓拭き）  
お弁当配布



## 七月例会役割

扨者	木村 昌子	坂本 みさ子
賛者	吉田 せつ	岩崎 千鶴
指図方	山村 美恵	

## 女子青年例会案内

日時 6月19日（日） 午前10時より  
場所 旭日大教会

webブックレット『Blossom-lite-no.13』を配信しました。

## 茜の会・さくら会「長襦袢掛け衿の付け方勉強会」

去る五月十五日午後、久しぶりに 茜の会（委員部長後継者 及び教会子弟夫人の会）、さくら会（26歳から40歳までの婦人会員の会）の活動を大教会で行いました。

おつとめ着の長襦袢を自分で替えることが出来るよう「ふしん社」縫製部におつとめの、山添文さんにお越しいたいただき、丁寧にご指導をいただきました。係の者も一緒に学ばせていただきました。

参加者は係を含めて10人でした。秋にもう一度勉強会を持たせていただきますので、参加できなかつた方は次回ご受講ください。  
(後継者係・記)



集中してできました！



みんなおりこうさんで待てました



終了後の茶話会

「日々勤め小さいようで大きい。

何とも無く思えば何でも無い。

何でも無いもの大切の理に運んでくれる。」

(おさしづ 明治23年6月23日)



表紙絵によせて

幼い頃に母と死別し父親に育てられたドット夫人が「母の曰があるのだから」と提唱したのが『父の曰』の由来。また、墓前にバラを供えていたから父の曰にはバラが定番になったと言われています。赤は愛情、白は深い尊敬、黄色は献身などです。感謝の心を添えて。

発行所

天理市田井庄町一二八  
天理教婦人会旭日支部

発行者

岡本道子

発行日

令和四年六月五日